



三木市 吉川町

合併協議会だより

平成16年7月20日発行

第4号



第4回協議会では、各委員からさまざまな意見交換がなされました。

目次

- 第4回合併協議会の結果報告 1
- 住民意向調査結果がまとまりました 4
- 今後の合併協議会の開催予定 8



「住民意向調査」の結果を報告

第4回

合併協議会が開催されました

6月22日に三木市立教育センター

で第4回三木市・吉川町合併協議会
が開催されました。

協議内容等については、次のとおり
です。

報告事項

■報告第13号

新市まちづくり計画策定に係わる
住民意向調査結果について

●新市まちづくり計画の策定に関して、
住民のみなさんの意向を把握するた
めに実施した住民意向調査結果につ
いて報告されました。

(詳細は、4頁以降をご覧ください。)

協議会での主な質疑、意見

【質問】吉川町民の合併における最大の
不安は、役所までの距離が遠くなる
ことだが、その対応は。

【回答】既に吉川支所の設置は決まっ
ているので、できるだけ充実した支所

を置くことで不安解消に努めたい。

【質問】三木市民の合併における最大の
不安は、公共料金の値上げであるが、
その対応は。

【回答】公共料金については、将来計画
を見据えて調整を図っていきたい。

【質問】三木市の回答率が低いが、市民
への説明が大事だと思われる。合併
に関する説明会等の開催はされない
のか。

【回答】新市のまちづくり計画がまと
まった段階で、住民説明会を開催し
たい。

【質問】住民の間には財政に対する危惧
も感じられるが、その対応は。

【回答】財政健全化は両市町とも差し迫
った課題でもあるので、建設計画と
財政計画のバランスをとった新市の
まちづくり計画を検討したい。

【質問】若い世代の定住志向が低くなっ
ているが、その対策は。

【回答】若い人が定住できるような展望
に立った新市まちづくり計画を検討

したい。

協議事項

第3回協議会で提案された事項に
ついて、協議が行われました。

■協議第18号

各種事務事業（商工観光関係事業）
の取扱いについて

商工観光関係事業の取扱いが次のと
り承認されました。

●中小企業等融資制度については、合
併時に三木市の制度に統一します。

●勤労者住宅資金融資制度については、
合併時に三木市の制度に統一します。

協議会での主な質疑、意見

【質問】各制度の融資額等は。

【回答】中小企業の融資制度について
は、8億円の融資枠を確保している。
勤労者住宅資金融資制度については、
1億8千万円の融資枠を確保してい
る。

■協議第19号

使用料、手数料等の取扱い（その
1）について（火葬場、戸籍、住民
基本台帳等の関係）

使用料、手数料に関する事項につい

て、次のとおり承認されました。

●火葬場使用料等については、合併時
に三木市の制度に統一します。

●戸籍、住民基本台帳等に関する手
料については、合併時に三木市の制
度に統一します。



提案事項

第5回協議会で協議される次の5
件について提案がなされました。ま
た、提案の後、各委員から次の質問
がなされました。

協議会での主な質疑、意見

【質問】提案に対して修正意見が出た場
合はどうなるのか。

【回答】修正意見に基づき、幹事会で検討したうえで、修正が必要な場合は、再提案する。

【意見・要望】

●各種審議会等の委員の選定方法等について、次回協議会で示してほしい。

●編入合併の事例だけでなく、近隣の状況などについても資料としてだしてほしい。

●使用料など、同じような項目はできるだけ1つにまとめて全体像がわかるような工夫をお願いしたい。

●三木市の制度に統一」という文字だけを見ると、すべて三木市に吸収されていると感ぜられることがあり、表現の方法も検討していただきたい。

■提案第20号

国民健康保険事業の取扱いについて

協議会での主な質疑、意見

【質問】国民健康保険運営協議会などの委員数は。

【回答】現在の三木市の定数を基本とし、その定数の中で必要があれば、吉川町関係者を委員として選任したい。



■提案第21号

介護保険事業の取扱いについて

協議会での主な質疑、意見

【意見】介護保険料について、第三期介護保険事業計画で、今の三木市の保険料と変わってくるのか。

【回答】第三期介護保険事業計画では、新たに見直しが図られる。

■提案第22号

消防団の取扱いについて

協議会での主な質疑、意見

【質問】合併後、消防団の組織は具体的にどうなるのか。

【回答】三木市では団長のもとに、各地区から選任された副団長がおり、そ

の下に補佐役として専任分団長を配置している。合併後は、現在の吉川町から副団長を1名選任し、その下に専任分団長を3名配置する。

【質問】定数の適正化を図るとは、具体的にどうするのか。

【回答】適正な規模については、合併後時間をかけ検討する。当分の間は現団員数を維持したい。

【意見・要望】報酬は、三木市に合わせるのが適当かよく検討していただきたい。

■提案第23号

各種事務事業（情報システム事業）の取扱いについて

協議会での主な質疑、意見

【質問】合併時に統合が困難なシステムとは。

【回答】例えば税のシステムなどが考えられるが、詳細については現在調査中である。

【質問】吉川町の公共施設間のネットワークは合併後に整備となつていますが、合併前にはできないか。

【回答】ネットワークを整備するだけでなく、その他の使用環境等も整える必要があるため、合併後早い段階で整備していきたい。

■提案第24号

各種事務事業（保健衛生関係事業）の取扱い（その1）について

協議会での主な質疑、意見

【質問】母子福祉医療事業の吉川町単独事業分の受給者は。

【回答】15年度で19名である。

【質問】母子福祉医療事業の吉川町単独事業分を廃止する理由は。

【回答】福祉医療事業は基本的には県の制度であり、所得限度額が設定されている。三木市の制度は、県の制度のままのため、他団体と比較しても妥当である。また、吉川町制度は、所得制限が設定されていないため、そのまま三木市に拡大すると財政的な負担が増大するため、経過期間を設けて廃止したい。



住民意向調査結果が

まとまりました

調査結果の概要

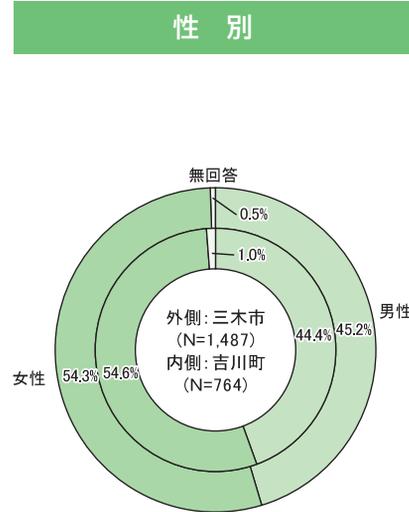
●新市まちづくり計画（新市建設計画）の策定にあたって、住民の方々に行政サービスの満足度や合併に対する期待や不安、新市のまちづくりのあり方等についての意見・意向を幅広くうかがい、この計画策定に反映させていくことを目的として、住民意向調査を実施しました。

●平成16年4月下旬～5月上旬に、三木市・吉川町の18歳以上の住民から無作為抽出した5,000名を対象に、郵送発送、郵送返送方式にて実施しました。

●三木市から1,487通、吉川町から764通の回答が寄せられ、有効回答率は45・4％でした。

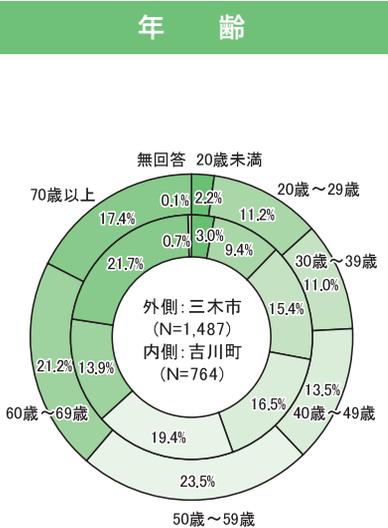
性別

三木市では、男性45・2％、女性54・6％、吉川町では男性44・4％、女性55・6％の比率となっています。



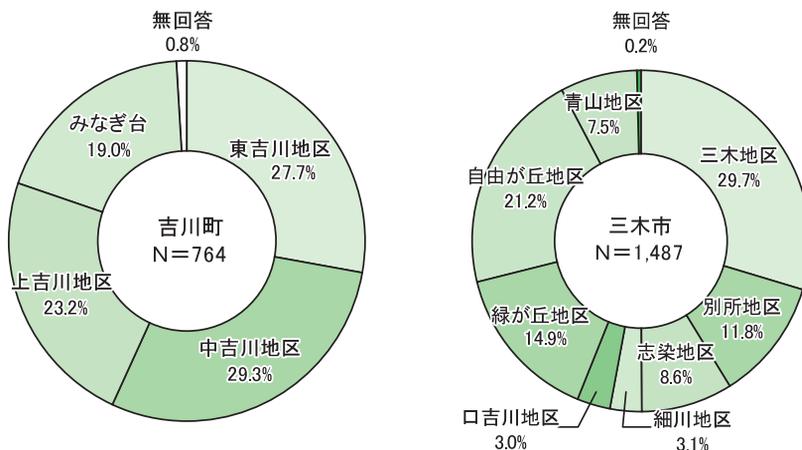
年齢

三木市では「60歳～69歳」が21・2％、「70歳以上」が17・4％、同じく吉川町では「60歳～69歳」が13・9％、「70歳以上」が21・7％などとなり、全体に占める高齢者層の割合が高い構成となっています。

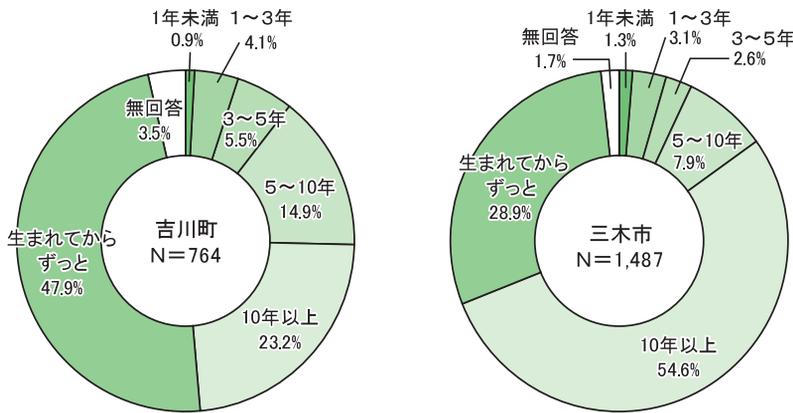


居住地区

三木市では「三木地区」が29・7％、「自由が丘地区」が21・2％などとなっています。吉川町では、「中吉川地区」が29・3％、「東吉川地区」が27・7％などとなっています。

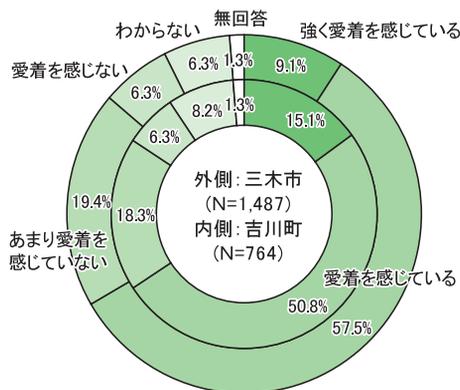


居住年数



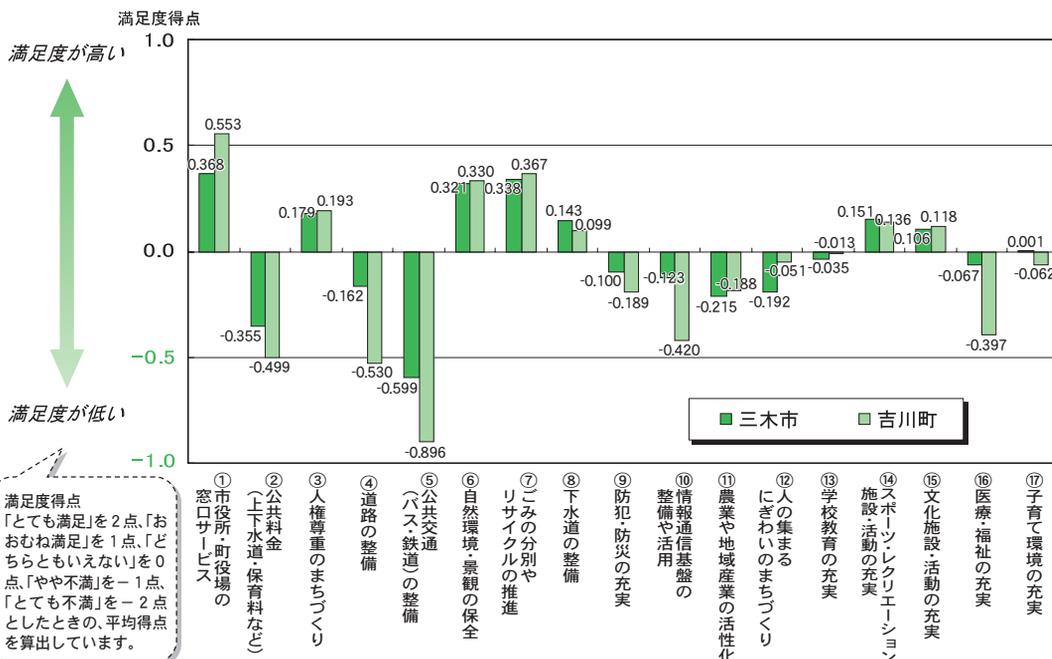
■ 居住年数
 居住年数については、三木市では「10年以上」が54・6%と最も多く、続いて「生まれてからずっと」が28・9%となっています。
 吉川町では「生まれてからずっと」が47・9%と最も多く、続いて「10年以上」が23・2%となっています。

まちへの愛着



■ 行政サービスの満足度
 三木市では、窓口サービスやごみ処理、環境保全などでの満足度が高い一方、交通・道路や公共料金の満足度が低くなっています。
 吉川町では、窓口サービスやごみ処理、環境保全などでの満足度が高い一方、交通・道路や公共料金、医療・福祉、情報通信基盤などの満足度が低くなっています。

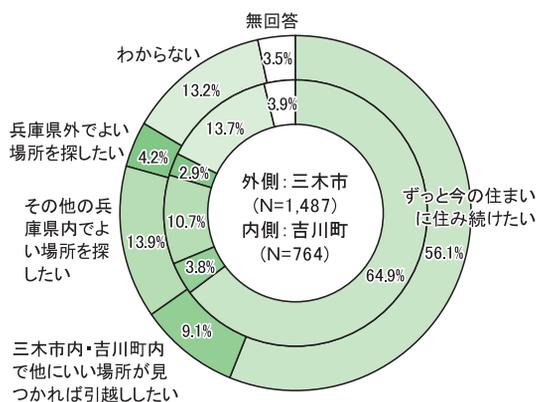
■ まちへの愛着
 両市町とも自らの居住地に対して愛着を感じているとする回答は全体の3分の2程度です。



行政サービスの満足度

満足度得点
 「とても満足」を2点、「おおむね満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「とても不満」を-2点としたときの、平均得点を算出しています。

定住意識

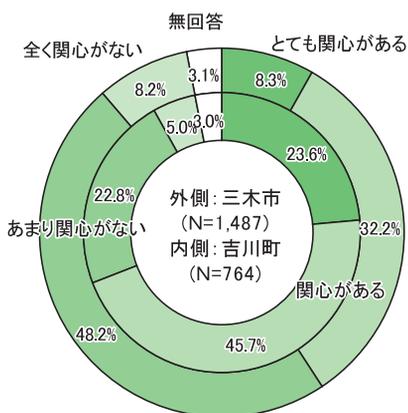


■定住意識と転出したい理由

地域内での定住希望が3分の2ですが、地域外への転出希望も三木市で18・1%、吉川町で13・6%の回答率となっています。

転出したい理由としては、通勤や買い物物の不便さ、働く場所の少なさのほか、三木市では福祉サービスが不十分だから、吉川町では教育・子育て環境が充実していないからとの回答も多くなっています。

合併協議への関心



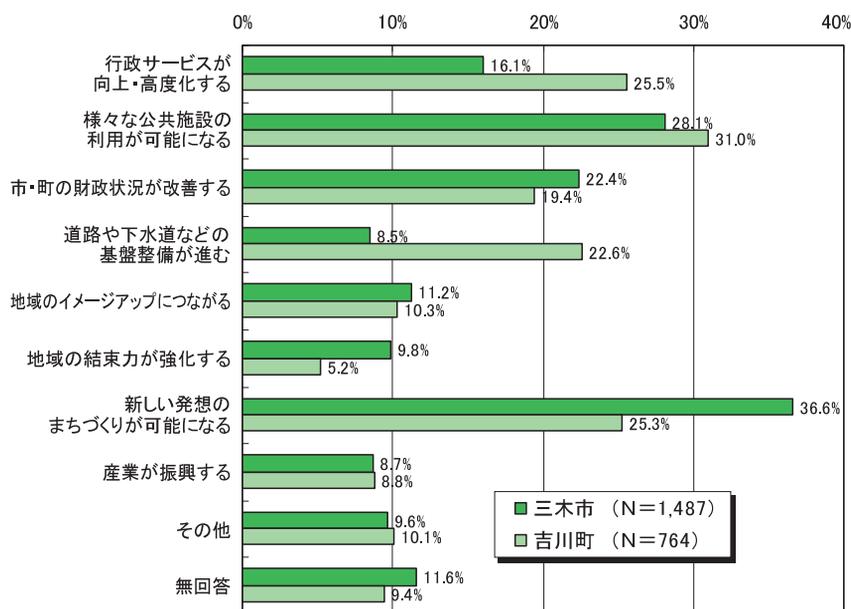
■合併協議への関心

合併協議に関心ありとの回答は、三木市40・5%、吉川町69・3%と大きな差があります。

転出したい理由

三木市	
①通勤・通学に不便だから	(56.0%)
②買い物や通院に不便だから	(34.3%)
③しごと・働く場が少ないから	(34.0%)
④まちににぎわい・活気がないから	(33.2%)
⑤福祉サービスが不十分だから	(20.5%) など
吉川町	
①買い物や通院に不便だから	(66.3%)
②通勤・通学に不便だから	(58.7%)
③しごと・働く場が少ないから	(39.4%)
④教育や子育て環境が充実していないから	(24.0%)
⑤まちににぎわい・活気がないから	(22.1%) など

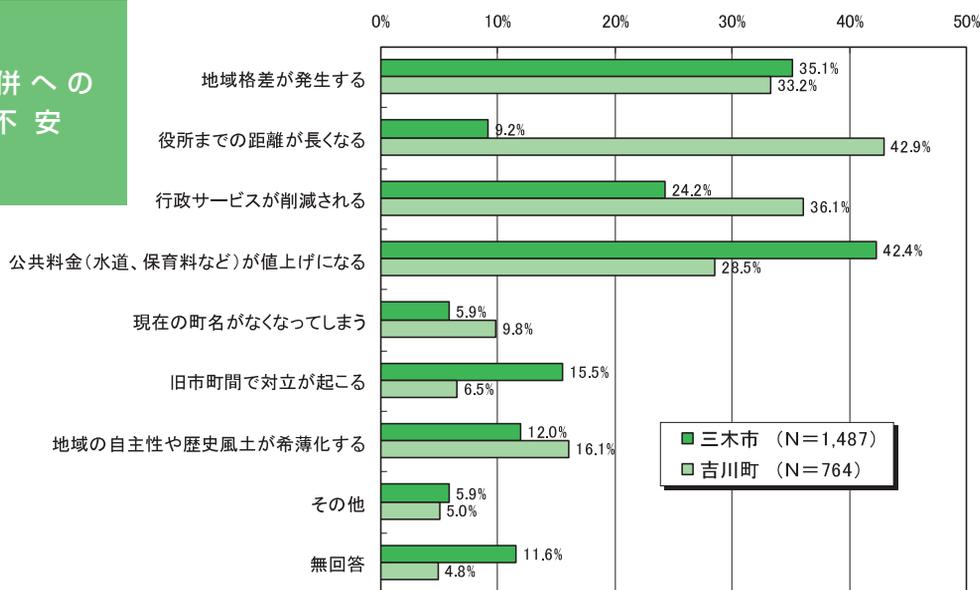
合併への期待



■合併への期待

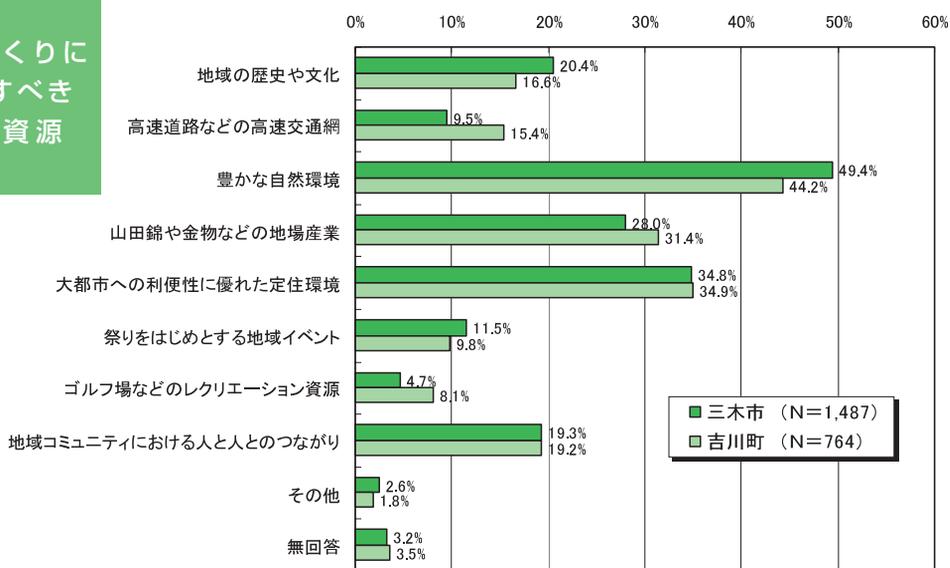
両市町とも、新しい発想のまちづくりや、公共施設の利用、行政サービスの高度化などへの期待が大きいほか、吉川町では基盤整備の推進を期待する回答も多くなっています。

合併への不安



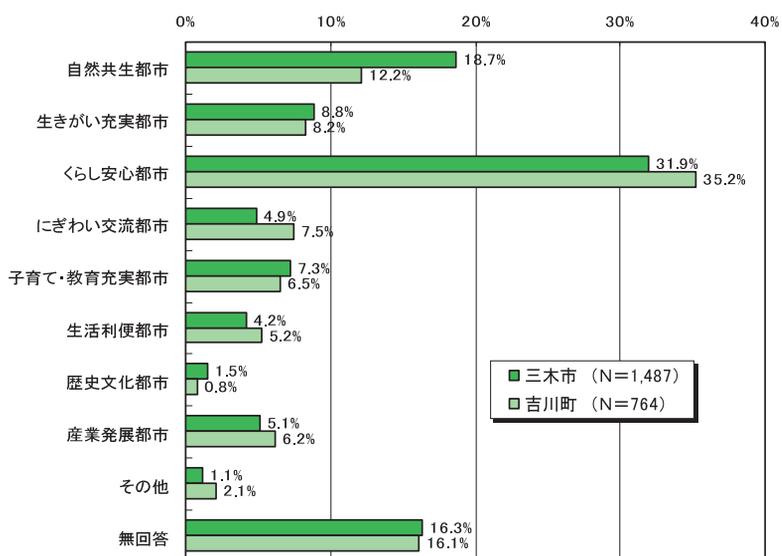
■合併への不安
不安面では、三木市では公共料金の値上げや地域格差の発生に対して、吉川町では役所までの距離が長くなること、行政サービスが削減されることなどに対して心配する回答が多くなっています。

まちづくりに活かすべき地域資源



■まちづくりに活かすべき地域資源
まちづくりに活かすべき地域資源としては、両市町とも、豊かな自然環境、大都市への利便性に優れた定住環境、山田錦や金物などの地場産業などの回答が多くなっています。

まちの将来イメージ

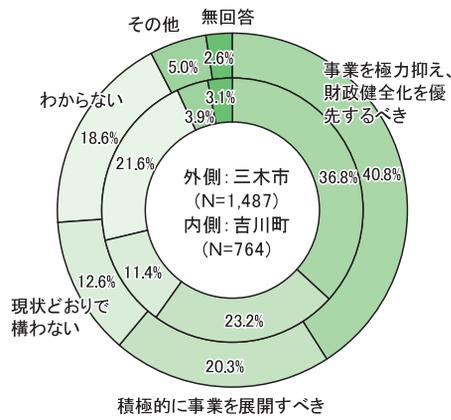


■まちの将来イメージ
まちの将来イメージについては、両市町とも、医療や福祉が充実する「くらし安心都市」や、自然環境が保全されふれあえる「自然共生都市」の回答が多くなっています。

行財政運営に対する姿勢

両市町とも「事業を極力抑え、財政健全化を優先するべき」との回答が最も多くなっています。

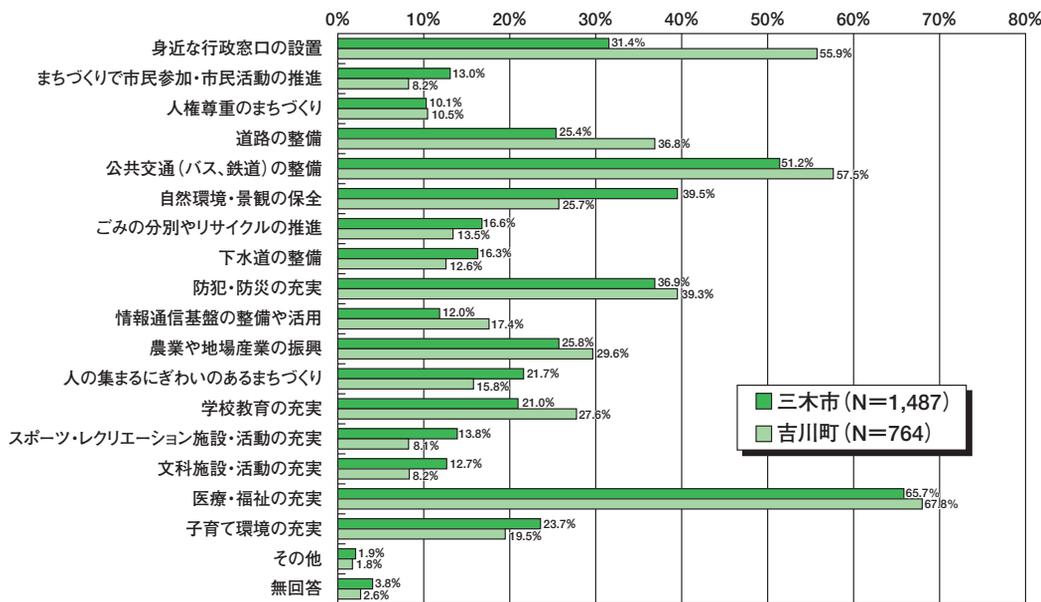
行財政運営に対する姿勢



重点的に取り組むべき課題

両市町とも、医療・福祉・福祉、公共交通、防犯・防災などを挙げる回答が多くなっています。また吉川町では身近な行政窓口の設置等の回答が多くなっています。

重点的に取り組むべき課題



調査結果のまとめ

- 医療・福祉や公共交通、身近な行政窓口、防災・防犯など、生活に密着したサービスの充実を求める声が多く、住民ニーズに対応した施策・事業の展開が求められます。
- 合併によって、新しい発想のまちづくりが可能になる、様々な公共施設の利用が可能になる、行政サービスが向上・高度化する、などの回答が多くなっており、住民の期待に応えるまちづくりが必要です。
- 合併への不安としては、役所までの距離が長くなる、公共料金が値上げになる、地域格差が発生する、などの回答が多く、新市のまちづくりでは住民の不安を解消できるような施策を講じる必要があります。
- まちづくりに活かすべき資源として、豊かな自然環境や利便性に優れた定住環境、地場産業等を挙げる回答が多く、地域資源を最大限に活用した方策が求められます。
- 節度ある行財政運営が求められているとともに、地域外への転出希望者が多いことを踏まえて定住促進策を充実していくなど、都市間競争に対応していく視点が重要です。

今後の会議開催スケジュール

- 第5回三木市・吉川町合併協議会
日 時：7月22日(木) 午後1時30分より
会 場：吉川町総合中央活動センター 研修館 講習室
- 第6回三木市・吉川町合併協議会
日 時：8月26日(木) 午後1時30分より
会 場：三木市立教育センター 大研修室

編集・発行

三木市・吉川町合併協議会

〒673-0492
兵庫県三木市上の丸町10番30号(三木市役所内)
TEL 0794-82-4990 FAX 0794-82-9755
■E-mail jimu@miki-yokawa-gappei.jp
■ホームページ <http://www.miki-yokawa-gappei.jp>